



第107号

発行  
吹田市民生・児童委員協議会  
発行責任者  
木田正章  
編集責任  
広報部会  
吹田市泉町1丁目3-40  
吹田市役所福祉総務室内



**紙面紹介**

- 一面 夢のファミリーフェスタ2023 民声
- 二・三面 夢のファミリーフェスタ2023
- 三面 吹田市民生・児童委員大会 総会
- 四〜七面 敬老会
- 八面 あの地区この地区 各種表彰
- 九面 第73回 社会を明るくする運動 子どもを知る会
- 十面 新任委員紹介 計報 編集後記



**民  
声**

委嘱16年目の新任委員長です。コロナ禍での「オンライン研修」に尻込みしながら、若い委員さんに教えを請い、何とか前に進んでいます。

地区での民生・児童委員は福祉委員としての役割が大きく、新任の方々の戸惑いも痛感しております。毎月定例会などで少しでも早く溶け込んで活動できるように、先輩委員みなでバックアップしていきたいと考えています。

今年度も敬老行事の実行委員会が立ち上がりました。会場の都合もあり、コロナ前のようなイベントはできませんが、いつも通りのチームワークで楽しく乗り切りたいと願っています。

吹南地区 高橋 真理子



# 夢のファミリーフェスタ2023

令和5年5月13日(土)メ  
イシアターで、夢のファミ  
リーフェスタ2023が、  
木田会長の「今日のフェス  
タの成功に向けて、さあ行  
こう！」の発声のもと、開  
催されました。

4年ぶりということもあ  
り、映画はありませんでし  
たが、中ホールにおいては、  
ダンスや歌、ジャグリング  
にチアリーダーと盛りだく  
さんの演目で楽しませてく  
れました。また、魚つり、  
バランスゲーム、けん玉・  
コマそして社会福祉協議会  
の的当て、輪投げ、スタン  
プラリーに、たくさんの子  
どもたちが参加してくれま  
した。お天気が少し悪くて  
心配しましたが、みんなニ  
ッコと楽しんでもらえた  
と思います。

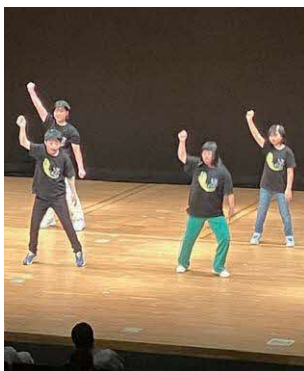
当初の目標、目配り気配  
りで、子どもたちが笑顔の  
一日を過ごせるようにしま  
しょう♪を無事達成でき  
てステキな一日となりました。  
◎ジャグリーマ専科



・大学に入ってからジャグ  
リングを始めました。幼  
稚園や老人ホームなどで  
皆さんに喜んでもらって  
います。コロナで3年ぶ

りの大きな舞台で、とて  
もはりきってます！  
・ジャグリング、初めて見  
ましたが、大人が見ても  
おもしろかったし、すば  
らしかったです。  
・水晶がうかんだのが不思  
議でした。やってみたい  
と思いました。

## ◎MASH



・障がいのある子たちが、  
体を動かす喜びや、楽し  
さを伝えてくれました。

## ◎チアリーダー



・私もチア習っています。  
すごくカッコよかったです。  
私もがんばります。

## ◎かば☆うま



・楽しかったです。  
・子どもと一緒に楽しめま  
した。体を動かすのも、  
よかったです。

## ファミリーフェスタを何で 知りましたか

・市報すいたで見て来てみ  
ました。来年もあるなら、  
また子どもたちと来たい  
と思います。  
・ネットで知りました。近  
くなので来てみようと思  
いました。よかったです。  
子どもたちも楽しかった  
みたいです。







◎けん玉・コマ

・久しぶりにやったけど、うまくのったから、うれしかった。保育園で習いました。楽しかったです。

◎バランスゲーム

・むずかしかったけど、おもしろかったよ。

◎魚つり

・私も子どもたちも楽しかったようです。また、やって下さい。



(小宮・小倉・石井・肥田  
後藤・増田・橋本・河野)

令和5年度  
吹田市民生・児童委員大会 総会

6月29日(木)メイシアターにて、大会・総会が開催された。

大会では、後藤吹田市長から「児童憲章前文を聞き、児童に対し問題があった時には児童を一人として扱い、気づいた時にはすぐに対応し、何が一番必要かを考えることが大切であると感じた」との挨拶があった。木田会長からは、「人口減になった時、地域ボランティアの人材確保は難しく、様々な人とのつながりが必要である。民生・児童委員として皆とつなぐ架け橋役を確保するため、私たちが楽しく活動することがPRへつながるのではないか」との挨拶があった。

総会では、令和4年度の事業・決算・会計監査報告に続き、令和5年度の事業計画、会計予算が報告された。その後、活発な意見が交わされ、今後の活動に活かされることと思われる。ここに令和5年度の大会・総会は盛況のうちに終了となった。

続いて臨席されたご来賓の方々の挨拶、永年の功績をたたえての表彰状授与、



(松尾・後藤・武田)

### 吹六



今年の記念品はお菓子の詰め合わせです  
美味しく召しあがってください

### 吹二



和太鼓・小学生の合奏・チアダンス・大阪府警  
による特殊詐欺の寸劇・吹田市吹奏楽団の演奏  
など盛りだくさんでした

## 幸福ゆき

# 会

in すいた



### 吹三



「梅干」と「日本舞踊・民謡」でみなさまによるこん  
でいただきました。わたしたちもいい顔しています

### 片山



大和大学の教室をお借りしての開催  
参加者もちょっぴり学生気分！

片山地区  
敬老会

### 千一



みなぎるパワーに若さをお裾分け頂いた気分  
になりました

### 佐井寺



靴カバーを履いて、体育館へGO！「歌の花束」  
のお二人による歌とピアノを堪能しました

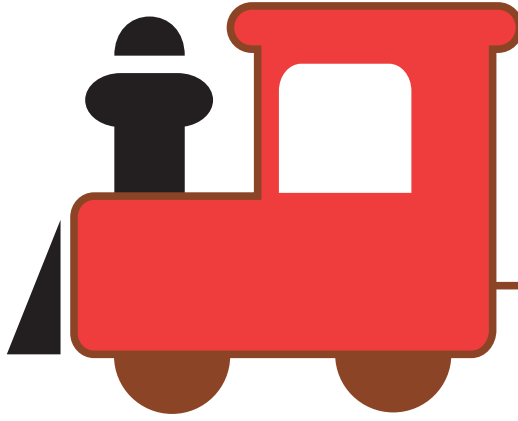
佐井寺地区  
敬老行事

### 千二



懐かしいあの曲、この曲をさあご一緒に  
歌声が体育館に響きました





### 吹一



コロナ、インフルのWパンチにて式典、催しができませんでした

### 東



今年も梅干しを祝品としてお渡し、とても喜んでいただきました



2023年 各地区

# 敬老

### 吹南



笑顔がいっぱい

### 山手



ご夫婦で喜んでいただきました

### 千三



関大チア部の熱演に感動！  
ジャズ演奏、コーラス、寸劇も楽しんでいただきました

### 五月が丘



真剣な表情のけん玉クラブの演技  
永田カツ子さんのLIVE也大盛況でした



### 豊一



記念品の交換のみを行いました  
こちらへどうぞ



### 千里新田



久しぶりに生演奏を聴くことができました



### 西山田



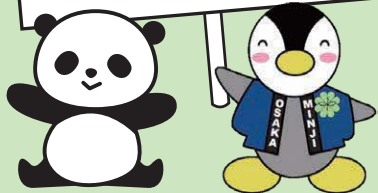
記念品のお渡しも3年目、一斉の受付にも言葉を  
交わしながらスムーズに対応しました

### 山二



山二・東山田・千里丘北は、今年の祝品は「障がい  
者福祉作業所」でつくったお菓子セット。とても  
好評でした。経路案内をした会場もあります

## おめでとう!



### 南山田



気持ちよく祝品「味付け海苔」をお渡しできる  
よう笑顔でみなさんをお待ちしました

### 北千里



4年ぶりの催し開催  
吹奏楽の演奏に耳を傾け、みなさんで体を動かし  
ピアノとバイオリンで大合唱

### 藤白台



昨年の映像を楽しみながら2023年藤白フェスタ  
スタートです  
ゲストの歌声に思わず口ずさみ一緒に手拍子

### 岸部



式典後、大阪学院吹奏楽部の演奏を楽しみました

### 豊津西



第2部コンサート  
大阪パワーソングメドレー！

### 山一



第2部演芸会はお琴の演奏で始まりました

### 北山田



今年の記念品は何か？



### 山五



100歳 おめでとう！

### 山三



地域の子どもからのメッセージ！

### 南千里 I



津雲台・佐竹台・高野台の記念品は  
今治タオルの詰め合わせ。喜んでいただきました

### 南千里 II



桃山台小、竹見台小、竹見台中から  
元気一杯参加してくれました







岸部地区

『4年ぶり』がキーワードになって様々な地区の行事が再開された。

・6月17日福祉委員会の独居高齢者昼食会の会場で揃って食事をして福祉委員や民生・児童委員との歓談に笑い声が絶えなかった。  
・7月22日青対・青指委員

厚生労働大臣特別表彰

- 吹二地区 内野 和代
- 東地区 由佐 紀久子
- 吹南地区 矢吹 賢太郎
- 山手地区 田中 将夫
- 千一地区 古谷 壽宏
- 千三地区 南出 幸子
- 新田地区 筒井 枝美子
- 豊津地区 森下 恭子
- 岸部地区 谷本 智恵子
- 岸部地区 小寺 育子
- 岸部地区 中川 光子



はなやかな大阪学院チアリーダー部

の「子ども納涼大会」が行われ岸二小の校庭は日差しが強い中、模擬店やゲームコーナーは行列が催しの終わる直前まで続き笑顔と歓声が響いた。  
・8月28、29日、「サマーフェスタ in きしべ」が

- 岸部地区 大庭 健
- 山二地区 宮本 修
- 山三地区 野口 修司
- 山五地区 向伸 綏子
- 山千地区 西田 廣子
- 吹六地区 山下 節代
- 吹二地区 白石 正子
- 吹三地区 岸本 良尚
- 片山地区 島 京子
- 千一地区 柄本 夫佐子
- 千一地区 植村 春江
- 山一地区 池川 節子
- 山千地区 中川 英雄

昨年引き続き開催され大勢の方で賑わった。

・9月16日、「敬老の集い」を開催、式典や演芸お楽しみ抽選会が実施でき大阪学院大学吹奏楽部の演奏はアンコールの歓声と拍手が沸き満員の会場は熱気に包まれた。更に10月8日市民体育祭、来年3月子ども野外カーニバルも検討している。開催にこぎつけた各団体のスタッフやお客さんが和やかに話す笑顔を見て、つながることの大切さをあらためて思い出した。

西川 緑一

厚生労働大臣表彰

- 山一地区 宮崎 依子
- 北千地区 山之内 一馬

市長表彰20年

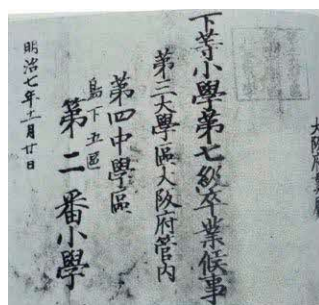
- 山一地区 鶴ヶ崎 三郎

市長表彰10年

- 吹一地区 佐古 雅子
- 東地区 前川 和義

山一地区

山一地区には、明治6年7月27日に創立し、本年創立150周年を迎える吹田市立山田第一小学校があります。創立時は鳴下郡第5区第二小学と呼ばれていました。



明治7年の卒業証書 (『山一創立百周年記念誌』より転載)



昭和7年当時の校舎 (『山一創立百周年記念誌』より転載)

いくつかの改称を経て、昭和27年4月・山田村立山田第一小学校と改称。昭和30年10月15日・現小学校名となりました。

時代の流れの中で山一小学校より分離開校が4校。昭和27年・山田第二小学校 昭和49年・山田第三小学校 昭和54年・西山田小学校 昭和55年・北山田小学校 歴史と伝統ある地域に根ざした学校は、脈々と受け継がれつつ、新しい教育を創造し、学校・家庭・地域が一体となり、信頼される学校として今日に至っています。 川上 光男





# 第73回 社会を明るくする運動

市民集会在7月1日(土)メイシアターにて開催された。

第1部では、後藤市長の挨拶の中で本当に社会を明るくするには、お金では、解決することはできない。社会全体も変わらない。生きづらい社会をなくせるように誰かが誰かを支える社会にしていく必要があると話された。

第2部では、『インターネット被害から子どもを守るには』と題して(株)情報文化総合研究所代表取締役の佐藤佳弘氏の講演があった。

ネットに潜む危険では多くの犯罪の中でもストーカー・自撮りの流出・連れ回しの被害が多発しており動画を使って紹介された。

安易に自分の情報をネットに出すと相手は年齢や性別を偽って近づき、自撮りを送らせたり、会って連れ回しやストーカー被害にあってしまう。

被害の未然防止として、子どもたちがよく保護者と話し合ってルールを決める。

保護者は、早期発見のために日頃の態度の異変に気づき、ネット検索機能(リアルタイム検索・「フリー」)などを利用する。



SNSの恐ろしさを知る



ダイナミックな中学生の演奏

もし被害にあったらスマホの記録保存をして学校や警察に通報する。

最後に保護者は、正しいスマホの使い方を示すことが大事であると締めくくられた。

第3部では、吹田市立千里丘中学校吹奏楽部総勢84人による演奏会が行なわれた。ユニークなナレーションやパフォーマンスを取り入れたステキな演奏だった。

(木下・伊東)

## 子どもを知る会

7月10日(月)に、メイシアター集会室において、2023年度の「子どもを知る会」が開催されました。



北村教授の講演

定から20年以上経過しても、いまだに子どもへの虐待数が増え続けている日本の現状について虐待の種別など最近の特徴、虐待の様々なリスク要因、虐待に対する法的対応などについて話され、さらに虐待が子どもの脳や心理に与える影響についても説明されました。

また虐待を加える保護者の心理についても言及され、虐待を受けている子どもと虐待をする保護者のそれぞれに対する支援の必要性を訴えられました。最後に、虐待のチェックシートを紹介されて、その活用についても触れるなど、盛りだくさんの内容で、講演後には参加者から質問が相次ぎました。なお参加者は30人でした。

今回は、関西大学人間健康学部の北村由美教授を講師としてお迎えして「子ども虐待の現状と課題」のタイトルでご講演いただきました。臨床心理学と社会福祉学の両方を専門とする北村先生は長年心理カウンセラーとして子ども虐待の現場に携わってこられた立場から、児童虐待防止法の制

宮本 陽太郎

新任委員紹介

令和5年4月1日委嘱



千一地区  
井藤 恵美



吹南地区  
平 ひとみ



吹南地区  
眞田 弘美



吹二地区  
小林 浩子



吹六地区  
坂東 章男



山二地区  
紙谷 英樹



山一地区  
山岡 宗司



山一地区  
桂木 康弘



豊津地区  
石津 朝子



豊津地区  
小田 吉久

令和5年8月1日委嘱



五月が丘地区  
渡邊 康子



千二地区  
山田 節子



北千里地区  
元吉 登志子



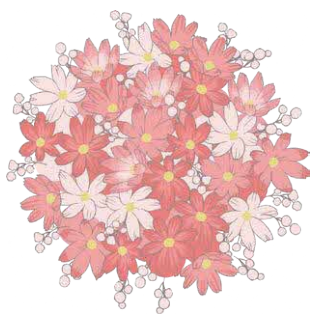
北千里地区  
高橋 千恵美



山二地区  
安藤 典子

計報

岸部地区 藤原 繁  
心からお悔やみ  
申し上げます  
(戸田)



藤白台地区  
松浦 真理子



豊津地区  
大倉 仁



豊津地区  
河野 隆子



編集後記

コロナと共生する社会となり、中止されていた行事も再開されるようになってきました。

なかでも4年ぶりの開催となった「夢のファミリーフェスタ」では、たくさん子ども達の笑顔を見ることができました。

また敬老会行事も、それぞれの地区で工夫して行うことができました。

本号では、それらの様子を中心に盛りだくさんでお届けしております。やはり実際に活動ができると紙面にもぎやかとなり嬉しいですね。

みなさまのお役に立つ、そしてより一層親しんでいただける広報誌になればと思います。ご感想をぜひお聞かせ下さい。